

主題「正しいメール活用の方法を身につける指導」

～受け取る人の気持ちを考えて～

さいたま市立大宮南小学校

1 ねらい

学校や家庭で、実際に活用することが多くなってきたインターネットやメールは、とても便利で小学生でも気軽に利用できる環境が生まれつつある。しかし、それらの正しい使い方やマナー、危険性などを知らないまま利用することは、自らを危険にさらしたり、相手に不快な思いを与えてしまう場合もある。そこで、電子メールの正しい使い方やそのマナーを知り、いつでも正しく活用できる力を身につけさせたい。

2 指導計画

- (1) キューブメールの使い方を身につけよう (1時間)
- (2) キューブメールで友達に電子メールを書いてみよう。(1時間)

3 授業実践例

- (1) キューブメールの使い方
(送信)
 - ・ ハイパーキューブの電子メールをクリックし、新しく送るボタンをクリックする。
 - ・ あて先を選び、件名、本文を入力し、送るボタンをクリックする。(受信)
 - ・ ポストマークをクリックし、受信メールの一覧から読みたいメールを選択する。(返信)
 - ・ 返信するボタンをクリックする。件名、本文を入力し、送るボタンをクリックする。
- (2) キューブメールで友達に電子メールを書いてみよう。
 - ・ 今回は、メールを送っている人がどこの誰なのか実際にはわからないといった実際の電子メールの環境に近いものを再現する。(個々のパソコンにはログイン番号のみ表示する。そのログイン番号も誰だかわからないように出席番号などではなくランダムな番号を与える。)
 - ・ 児童が送信、返信のやり方をほぼ身につけてきたころ、意味のはっきりしない文章を、教師が意図的に送る。そのときに感じたことを発表させる。
 - ・ 児童の感想から
◎悪口を言われているようで、いやだった。◎バカにされているみたいだった。◎いやな人だな、と思った。◎悲しい。◎すこし怖かった。
- (3) 電子メールを使うときに気をつけなければならないことをまとめよう。
 - ・ 人がきずつくことは書いてはいけない。人の悪口は書かない。自分がされていやだと思ふことはしない。相手を思いやった文章を書く。相手の気持ちを考える。書いた文章を見直しすることも大切。受けとった人が喜ぶメールを書く。うそは書かない。伝わりにくいことは、メールではなく直接話すことも必要。
- (4) 相手のことを考えて、電子メールを書いてみよう。

みんなで話し合ったことをもとに、受け取る相手の気持ちを考えてメールを書いてみる。

4 今後の成果と課題

電子メールを体験するなかで、相手のことを考えた思いやりのある文章が大切であることが実感できたようだ。今後、年齢があがるとともに携帯電話やパソコンを多くの場面で使うようになるであろうが、その際にも今回学習したことを生かしていくことができれば幸いである。